

高信頼性ICタグ

「光り玉」もICタグです

ICカードは人間がもつRFIDですが、ものに貼り付けるものはICタグと言います。人間よりこの世のものの数が圧倒的に多いわけですから、ICタグの数も圧倒的に多いはずです。

今は、スイカのようなICカードが多いように思えます。ICタグはまだまだこれからという段階です。ICタグというとバーコードの電子的代替えのように思われるので、電池なしの安物また薄いものというイメージがあるようです。

ここで少し述べて置きたいのは電池付きのICタグも見捨てたものではないということです。電池があることにより大幅に通信距離は伸びます。またセンサなどの機能を豊富にサポートすることができます。

「光り玉」もICタグなのです。電池がありますから反応するとき綺麗にぴかぴか光ります。人間にとってICタグやICカードがなにか処理しているとき反応してくれると大変分かり易いものです。

ICタグはいよいよこれから立ち上がっていくマーケットです。大事にして育てていきたいものです。